

NITTOU VISION

創刊号
2020.08



5年後、誇れる会社へ。

CONTENTS

- [特集] 安全大会 レポート
- 新メンバー紹介
- 社長挨拶
- NITTOU HISTORY BOARD

[インタビュー]
現場人



創刊にあたって

社内コミュニケーションの一環として、今回、九州日東の社内報を創刊することになりました。今後、社内外の人と人、会社と社員をつなぐ情報誌として継続的に発行し、九州日東のコアな情報や人をお届けしていきます。

NITTOU'S 現場人 GENBA-BITO

「誇り」と「探求心」。

杭打機に乗ると変わる顔つき。
唸りをあげるオーガーはまるで生き物のよう。
15歳でこの世界に飛び込み、業界屈指の腕前で九州日東の現場を引っ張ってきた男・深草宏充の軌跡にせまる。



VOL.1 深草 宏充

「まず初めに深草さんの杭打機オペの腕前は皆知るところですがここまで何を大事にされてこられましたか？」
「若い頃から誇りを大事にしながら努力をひとつひとつ積み重ねてきました。そして、常に限界を追求しながら仕事をやってきたことが今につながっていると思います。」
「職人、仕事人として大事にしてきたことは？」
「人間性を磨き、周りの人を理解しながら仕事を進めていくこと。思いやりを持つことです。その意識を持ちながら、現場では限られた時間の中で先の動きを考え、五感を研ぎ澄ましながら仕事をするのを大事にしています。」
「信念を持ってこの仕事をやってきたと思えますが改めてこの仕事の魅力は何ですか？」
「まず基礎工事は建物を支える重要な仕事。その中でもこの仕事は土質など、現場ごとに条件や環境が違い、常に未知の世界の中で仕事をできることが醍醐味のひとつです。そして何よりも関わった建物での思い出や苦労を完成した建物を見て回想できることが魅力だと思います。」
「九州日東の歴史を築き上げてきたメンバーとして、これまでを振り返って思うことはありますか？」
「この会社で仕事をしていく中で、『九州日東』の看板を背負っていると



これまでの歴史を語る深草さん

「このことを常に意識しながらこれまでやってきました。もちろん壁にぶつかるときもありましたが、そのときは逆転の発想で物事の見方を変えたり、いろいろな工夫をしてきました。あとは仲間、ときにはぶつかることもあれど、仲間といろんな会話をして知恵を出し合いながら難しい現場も乗り越えてきました。『ああじゃないか、こうじゃないか』と。社長ともたくさんぶつかった。正直その会話が時代の流れとともに減ってきているんじゃないかと感じることもあります。やはり会話がなくて技術力もあがらないし、仕事も楽しくないと思っています。」
「時代が変化している中で今後の未来を担う次の世代に伝えたいことはありますか？」
「モノを言うことを大事にしてほしい。ただ、周囲の人も言いたいことを言うための雰囲気づくりと人を育てる意識が大事だと思います。思い返せば自分は先輩に恵まれていました。なので受けた恩を『恩送り』したい。」



現役バリバリ時代の深草さん(右から2番目)

深草宏充

ふかくさひろみつ ●昭和31年2月10日生まれ。64歳。15歳で基礎工事業界に飛び込み、社長にその才能を見込まれ34歳のときに九州日東へ。社歴30年。趣味は歴史。座右の銘は「生に運あれど名に運はなし」

TOP MESSAGE — 社長挨拶 —

今年で創業45年目を迎える九州日東株式会社の歴史は誇りと挑戦で創られてきました。創業期には、新たな可能性を求め特許工法を開発し当社の強みが生まれました。このとき取得した特許工法については「文部科学大臣賞」「中小企業長官奨励賞」等の評価を頂きました。また私が社長に就任した際には、現場の皆さんと一体となり、「固い地盤」「狭い」といった難しい現場に立ち向かってきました。そのとき培われた技術は今でも九州日東の強みです。

さて、話は変わりますが、現在建設業界も含め、社会は様々な変化を迎えています。会社は今、この変化への対応を求められているとともに、これまで創り上げてきた技術と歴史を次の世代に継承し、新たな時代を作り上げていくときが訪れています。今年の1月に開催した安全大会では、未来に向けての話をたくさん聞かせて頂きました。意見を寄せていただいた皆さん、本当にありがとうございました。少しずつではありますが、安全大会の場に出た意見を具体的に実現させていく所存です。



代表取締役
榎 博史

この先、私と一緒に第一線でやってきたメンバーが経験したように、数々の壁に直面することもあるかと思いますが、会社が大事にしてきた「一致団結」「信用」「挑戦」の精神を大事に、「九州日東らしく」成長していきながら、これからの未来を紡いでいきたいと考えています。そして何よりもその過程と得られた達成感を会社全体で楽しんでいきたいと考えております。皆さん、どうぞ力をかしてください。よろしく願いいたします。

NITTOU HISTORY BOARD

技術を形づくり 新たな挑戦を

若い世代、そして九州日東を創り上げてきた先人たちが胸を張って誇りを持てる会社を目指します。



特集 / レポート

安全大会

～ 過去、現在、そして未来へ～

令和2年1月18日(土)、レスポアール久山にて安全大会を開催しました。当日は、ファシリテーター(話の促進役)として全国で活躍する元・鹿島建設の山口寛さんを迎え、第一部では「安全大会」を開催し、第二部では「現場のこれからを描く」と題して、より良い現場づくりについての話し合いの場を設けました。世代や立場、価値観を越えて、多様な意見やアイデアが出た当日の様子を報告します。

当日の対話のルール

- 人の話に耳を傾ける
- 否定せず断定しない
- 答えは一つと思わない
- 1人1回2分以内
- アイデアをつなげる

全員で話をする



今後の未来を担う若手メンバー



どんどん書き出してアイデアを紡ぐ



現場、機材センター、事務所の各部署を越えた意見交換



当日は約40人の社員が集う



現役バリバリの現場メンバーによる語り合い



社長を交え、立場、世代を越え弾むトーク



九州日東を作り上げてきた先輩たちの語り合い



大先輩から若手への技術継承



当日ファシリテーターを務めていただいた山口寛さん

参加者のアイデア

☆人間関係を大切に
楽しくコミュニケーションを取ろう!

知識あいまいとコミュニケーションが
取れれば、声かけも増え、
お互い危険な事など減る。
わからない事とかも
聞きやすくなる。

早期人材育成

若い人や、会社に入ってけいけんの
浅い人は、どんどん新しいことにチャレンジ
して、その道を極めた人に教えてもら
たり、自分から質問などして、自身の
技術を向上させる

一人一人の人間性技術の
向きを常に持つ

ボルト、ピン、本体
コスト意識を持ち
物を大切に
機械類の整備を
まめにする

☆利益を考える

〜この部品や道具は何回
考え、交換する。

・お話し事は、言葉のやり取り
、気持ちのやり取りも大切

輪を持って。
・楽しい職場作り
・楽しい思い
・意見交換、合意、現場
・前向きな考え
・若手の育成

仕事にたいして
自信をもつ!!

異体同心
人それぞれ考えは違っても
会社を思う心が1つに合わせれば、
大きく成長し、他人を思い
やる心が生み出れる。
それにより、事故も減る。

CHECK!

討論 ≠ 対話

討論で起こること

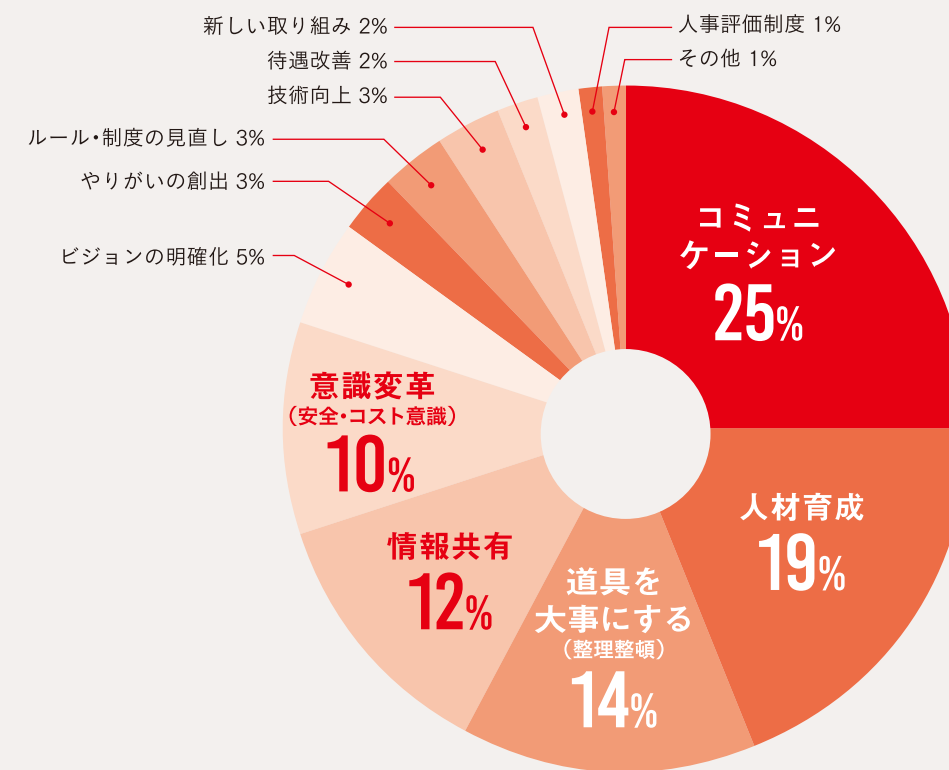
- 声の大きい人 有利
- 違いがあれば攻める
- 考え方が変わらない
- 自分の想像の枠を越えない
- 気まずい雰囲気になる

対話で起こること

- 声の大きさ関係ない
- なぜ違うのか?を探求する
- 考え方が変わっていく
- 想像を越え新しい世界を知る
- だんだん楽しくなる

意見集計結果

テーマ よりよい現場・会社を実現するために重要な取り組みとは?



5つのキーワード

- 1 コミュニケーション
- 2 人材育成
- 3 道具を大事にする (整理整頓)
- 4 情報共有
- 5 意識変革 (安全・コスト意識)

新メンバー紹介

今年の3月から九州日東の
新たなメンバーとして
入社した柴田園枝さんを
紹介します。



しばた そのえ
柴田園枝 44歳

PROFILE

家族構成 娘2人(高校1年生と小学6年生)
趣味 美味しいお酒を楽しむこと
仕事の経歴 ホテルのプライダルプランナー、人材コーディネーター
前職はベンチャー企業の人事部で採用から人材育成、
職場環境の整備等の業務に従事。

Q1 九州日東ってどんな会社?

ズバリいい人が多い会社です!人の温かさを感じています。そして、なんといっても職人さんたちがめっちゃくちゃかっこいい!働く背中にプライドを感じます。九州日東の誇りがひしひしと伝わってきます。

Q2 今後の抱負を一言!

皆さんが働きがいを感じることができて、そして幸せを実感できる職場を実現させたいです!そのためにまずは皆さんの話をたくさん聴かせていただきたいです。とりあえず、なんでも話せる親戚のおばちゃん的な存在でありたいです(笑)どうぞよろしくお願いたします。

柴田さんはより良い現場・会社づくりを実現させていただくためのメンバーとして今後活躍していただく予定です。現場に行った際は皆さんよろしくお願いたします。